



ひとりの声を大切に！

高山豊彦(とよさん通信)

第7号



2020年(令和2年)秋号

発行責任者：高山豊彦 TEL/FAX：0774-78-2935

E-mail：toyohiko.takayama3272@gmail.com

WEBサイト：<https://www.komei.or.jp/km/takayama-toyohiko-wazuka/>



新型コロナの影響が続く中、国の第1次・第2次補正予算による地方創生臨時交付金を財源として、本町においても様々な住民の生活支援対策が進められています。

今号では、臨時会や9月の定例会での主な質問内容等についてご報告させていただきます。

新型コロナ禍の支援拡充を実現！

今年度は、これまで2回の定例会と2回の臨時会が開催され、国の地方創生臨時交付金を活用した支援対策などが議論され、「生活支援商品券給付」「茶農家支援給付金」「子育て世帯等生活支援給付金」等の取り組みが進められている中、8月12日の臨時会で、観光客等の減少で大きく影響を受けている民宿や飲食店等の事業者には商品券などの支援が届いていないとして、これまで本町の観光誘致に協力し支えていただいた事業者や民宿(農泊)等への支援。また、国の「特別定額給付金(一人10万円)」についても、長引くコロナ禍の中、基準日の4月27日以降に生まれた新生児も対象にすべきではないかと強く訴えさせていただき、9月定例会で事業者や農泊等、新生児への給付が決定しました。

<9月議会で決定した主な補正予算の内容>

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. 茶源郷行政情報配信機器更新等委託料・備品購入費 | 3,410万円 |
| 2. 住民票写し等のコンビニ交付サービス実証事業 | 621万円 |
| 3. 有害鳥獣関係補助金 | 635万円 |
| 4. 給付金等(内訳下表) | 1,950万円 |

項目	内容
新生児特別定額給付金	令和2年4月28日～令和3年3月31日までの新生児一人につき10万円
事業者応援給付金	茶農家を除く個人・法人の事業者に一律5万円
農泊新型コロナ感染予防対策支援金	マスク、消毒液、非接触型の検温計等対策費用として一律2万円 (今後も農泊として協力いただける方)

児童クラブの窓に網戸が設置されました！



4月末、コロナ禍による学校休校中の小学校児童の居場所である児童クラブを視察。

新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、「窓を開けて換気をするために網戸が必要」との声をお聞きしました。

5月の臨時会において、十分な換気環境を確保するための網戸の必要性を訴え、9月に設置されました。

Q. 国連のSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みは 第5次総合計画による取り組みとして重要と考えるが！

A. SDGsの「誰一人取り残さない」との原則は重要な理念！
第5次総合計画の持続可能なまちづくりの指針としたい。

【農業を維持・継続するための対策】

1. 農家の高齢化等に伴う荒廃農地対策は？

A. 共同化や農地の集約化、家族農業を維持するための援農や、移住促進に取り組んできた。
優良農地の有効活用や担い手への貸し出し等、農業委員会等で地域ごとに協議をお願いしている。

【安全な生活環境の確保】

1. 放置されている空き家や住みついている動物被害の対策は？

A. 空き家の倒壊などにより、道路や施設に被害が及ぶ状況があれば所有者に対処をお願いする。また、人に被害を加えるような、どう猛な動物は安全確保のため対応するが、愛玩・小動物は住民の方で処理をお願いしたい。

2. 地域自主防災体制の現状は？

A. 昨年、各区長、消防団員が参加し災害時の役割や任務について学習を深めた。警報発令時には、各区の役員さんや民生児童委員、町職員が協力し対応することになる。

3. コロナ禍における避難所の確保は？

A. グリンティ和東を加え10箇所を確保している。また、いきいきこども館、教育集会所の空調設備工事が完了後、避難所としても活用できるよう手続きを進めている。

4. 高齢者の避難誘導體制は？

A. 警報が発令された場合、区の役員さんや消防団の皆さんに避難の声掛けや避難所までの送迎をしていただいている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標（SDGs）の詳細



日本自身の課題に関係が深い目標の例

●成長・雇用 ●グリーンエネルギー ●イノベーション ●循環型社会（3R：Reduce Reuse Recycle 等）
●温暖化対策 ●生物多様性の保全 ●女性の活躍 ●児童虐待の撲滅 ●国際協力 等

⇒実施には、多くの国内省庁が関係。

ロゴ：国連広報センター作成

17の目標を順番に並べると

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. 全ての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう

（内閣府地方創生資料による）